



© 環境省
エコアクション21
認証・登録番号 0008735

エコアクション21

環境経営レポート (2023年度版)



運用期間： 2023年8月～2024年7月

発行日： 2024年8月20日



有限会社 武森組

— 目 次 —

1. 組織の概要	-----	1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポート対象期間及び発行日	-----	2
3. 環境経営方針	-----	3
4. 環境管理組織体制	-----	4
5. 環境経営活動への取組の全体概要	-----	5
6. 環境経営目標	-----	6
7. 環境経営活動計画	-----	8
8. 環境経営目標の実績	-----	9
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価	-----	12
10. 次年度の取組内容	-----	16
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	-----	19
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	-----	21



1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 武森組

【代表者氏名】 代表取締役 武 森 義 広

【事業所所在地】

本 社： 高知県土佐市高岡町乙633番地の3
第1倉庫： 高知県土佐市高岡町乙775番地の45
第2倉庫： 高知県土佐市高岡町乙599番地の1

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 取締役総務課長 武森 順子
連絡先担当者 工務課 筒井 通夫
連絡先 TEL：088-852-5578
FAX：088-852-5336
E-mail takemorigumi@rapid.ocn.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業（主に河川、道路、砂防・地滑り、造成工事を行っております。）

建設業許可

許可番号 高知県知事（特-4）006637

許可年月日 令和4年6月28日

建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、
しゅんせつ工事業、塗装工事業、解体工事業

【事業規模】

設立年月日 平成2年5月2日

資本金 2000万円

会計年度 8月～7月

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
工事等の件数	12	4	5	9	9	11	6
売上高(百万円)	29	69	69	74	78	129	101
従業員(人)	5	5	5	5	6	7	7
事務所床面積(m2)	42	42	42	42	42	42	42
倉庫床面積(m2)	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850

※ 従業員数は、2024. 08. 01 現在

2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポート対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 武森組 全社

本 社： 高知県土佐市高岡町乙633番地の3

第1倉庫： 高知県土佐市高岡町乙775番地の45

第2倉庫： 高知県土佐市高岡町乙599番地の1

建設業： 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、塗装工事業、解体工事業

【環境経営レポートの対象期間】

2023年8月～2024年7月

【環境経営レポートの発行日】

2024年8月20日

（次回発行予定日：2025年8月末頃）

【作成責任者】

環境管理責任者 武 森 順 子

2-1. 当社の取組むSDGs



目 標	具体的な取組
6 安全な水とトイレを世界中に	水道使用量削減、雨水利用 濁水発生防止
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	低騒音、排出ガス対策型重機の使用 エコドライブの推進
8 働きがいも経済成長も	高齢者雇用
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	低燃費車両の使用
11 住み続けられるまちづくりを	環境負荷の少ない工事の実施 社会貢献活動の実施
12 つくる責任 つかう責任	環境負荷の少ない工事の実施 コピー用紙削減
13 気候変動に具体的な対策を	環境負荷の少ない工事の実施 CO ₂ 削減

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社 武森組は、環境の保全・調和・共生に積極的に関わり、土佐市の美しい自然を子供たちに引き継ぐ為に、継続的改善による環境経営を行なっています。

【基本方針】

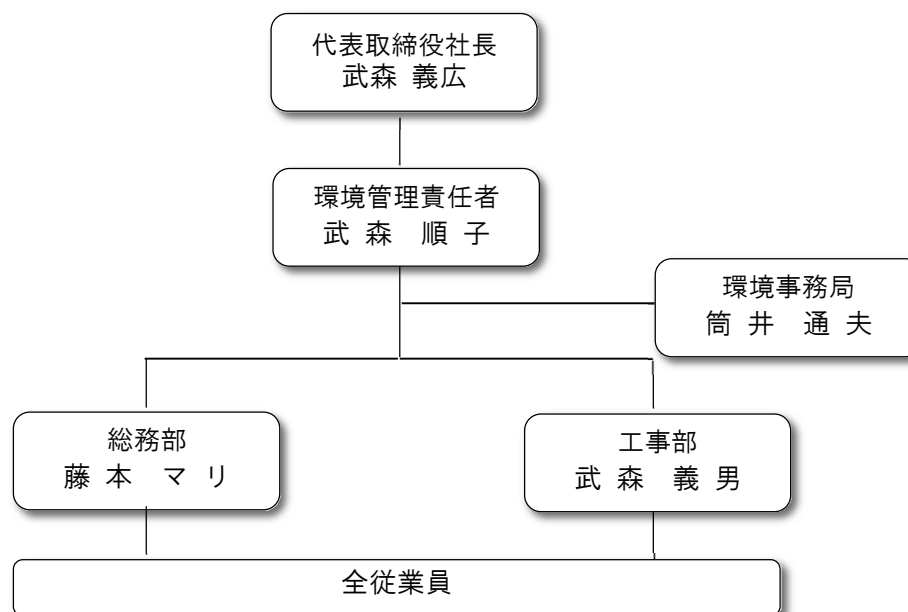
1. 環境対策型建設機械の使用を促進するとともに、作業の効率化を推進し、燃料使用量の削減を図ります。
2. 建設現場及び、事務所において3R(Reduce・Reuse・Recycle)活動を推進し産業廃棄物、一般廃棄物の排出量を削減します。
3. 環境負荷の少ない工事の推進に努めます。
4. 建設資材及び事務用品のグリーン購入を推進します。
5. 節水・節電に努め、環境への負荷の軽減に努めます。
6. 地域周辺に対する社会貢献及びボランティア活動へ積極的に参加します。
7. 環境関連法規並びに条例を遵守します。
8. 全従業員に対し、環境経営方針を周知徹底させ、環境に関する教育を行い、環境活動への意識の向上を図ります。
9. 環境経営レポートを広く外部公表します。

改訂日：2020年8月1日

代表取締役社長

武森 義広

4. 環境管理組織体制



【環境管理システム 役割・責任・権限表】

	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・ 代表者による全体評価と見直し実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境活動レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開
部門長	・ 自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・ 自部門に係る環境活動計画の実施、達成状況報告 ・ 自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに環境負荷の自己チェックを行い、環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 電力使用量については、目標をオーバーしましたが燃料使用量、CO₂排出量（総量）については、大幅に削減できました。
- 産業廃棄物排出量については、目標値を大幅にオーバーしましたが、再資源化率100%です。
- 環境負荷の少ない工事は、全ての現場で実施できました。
- 環境美化活動としてロードボランティア活動を中心に2023年度は31回（86人）実施しました。

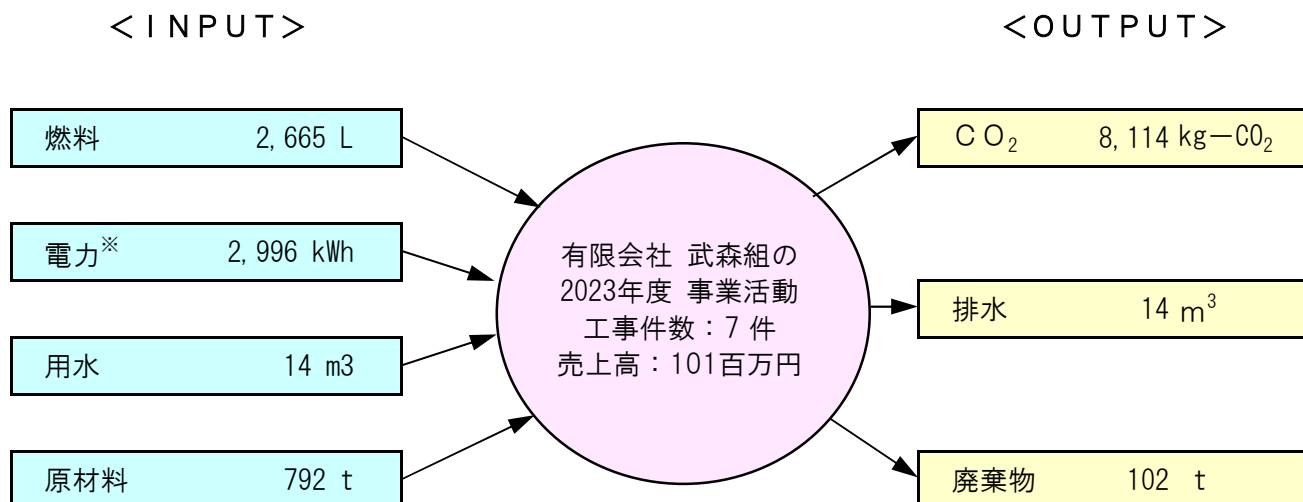


環境負荷の少ない工事例

・支承防錆の際に発生する、
プラスチックの飛散防止対策（板
張り、シート防護）

土佐市橋梁（初田橋）補修工事

<有限会社 武森組 の物質フロー>



※ 購入電力のCO₂排出係数は、四国電力（2023年1月31日公表）の調整後排出係数0.533kg-CO₂/kWhを使用した。

6. 環境経営目標

(1) 単年度目標（2023年度）

項 目		総量・ 原単位	単位	2016年度	2023年度
				(基準年)	総量:基準年-7%
売上高		総量	百万円	71	
電力使用量		総量	kWh	3,134	2,910
		原単位	kWh/百万円	44.1	
化石燃料 使用量	ガソリン使用量	総量	ℓ	1,829	1,700
		原単位	ℓ/百万円	25.8	
	軽油使用量	総量	ℓ	3,779	3,510
		原単位	ℓ/百万円	53.2	
	灯油使用量	総量	ℓ	110	100
		原単位	ℓ/百万円	1.5	
CO ₂ 排出量 ※1		総量	kg-CO ₂	15,555	14,800
		原単位	kg-CO ₂ /百万円	219.1	
一般廃棄物排出量		総量	kg	50	50
		原単位	kg/百万円	0.7	
産業廃棄物排出量		総量	t	47	40
		原単位	t/百万円	0.7	
産業廃棄物再資源化率		総量	%	100	100
用水使用量		総量	m ³	15	14
		原単位	m ³ /百万円	0.2	
グリーン購入 ※2		総量	%	34	85
環境負荷の少ない工事 ※3		総量	%	100	100
				(5件/5件)	(全件)
地域社会貢献活動		総量	回	16	24

※1 購入電力のCO₂排出係数は、四国電力（2023年1月31日公表）の調整後排出係数0.533kg-CO₂/kWhを使用した。

※2 グリーン購入総量（%）は今年度からすべての直接工事用資材を除き、現場備品（工事用看板、バリケード等）、事務用品の総購入金額に対して環境品の購入金額の割合とする。

目標値については、基準年の実績：85%（83,925円/98,934円）を継続する。

※3 環境負荷の少ない工事の実施例

- ・低騒音、排ガス対策型機械の使用
- ・環境負荷の少ない材料（再生砕石、再生合材、高炉セメント等）の使用
- ・再生資材を原料とした製品の使用
- ・間伐材を使用した木製型枠、工事看板の使用
- ・粉塵の防止対策の実施
- ・濁水防止対策の実施
- ・刈り草、木屑運搬時の飛散防止

※4 化学物質使用量の目標設定は、使用がないため設定は行わない。

(2) 中長期目標（2024年度～2026年度）

項 目		総量・ 原単位	単位	2016年度	2024年度	2025年度	2026年度
				(基準年)	総量:基準年-8%	総量:基準年-9%	総量:基準年-10%
売上高		総量	百万円	71			
電力使用量		総量	kWh	3,134	2,880	2,850	2,820
		原単位	kWh/百万円	44.1	40.6	40.1	39.7
化石燃料 使用量	ガソリン使用量	総量	ℓ	1,829	1,680	1,660	1,650
		原単位	ℓ/百万円	25.8	23.7	23.5	23.2
	軽油使用量	総量	ℓ	3,779	3,480	3,440	3,400
		原単位	ℓ/百万円	53.2	48.9	48.4	47.9
	灯油使用量	総量	ℓ	110	101	100	99
		原単位	ℓ/百万円	1.5	1.4	1.4	1.4
CO ₂ 排出量 ※1		総量	kg-CO ₂	15,555	14,700	14,500	14,300
		原単位	kg-CO ₂ /百万円	219.1	201.6	199.4	197.2
一般廃棄物排出量		総量	kg	50	46	46	45
		原単位	kg/百万円	0.7	0.6	0.6	0.6
産業廃棄物排出量		総量	t	47	43	43	42
		原単位	t/百万円	0.7	0.6	0.6	0.6
産業廃棄物再資源化率		総量	%	100	100	100	100
用水使用量		総量	m ³	15	14	14	14
		原単位	m ³ /百万円	0.2	0.2	0.2	0.2
環境負荷の少ない工事		総量	%	100	100	100	100
				(5件/5件)	(全件)	(全件)	(全件)
地域社会貢献活動		総量	回	16	24	24	24

7. 環境経営活動計画

2023年度（2023年8月1日～2024年7月31日）

項 目		活 動 内 容	担当者
CO ₂ 排出量削減 (14, 800kg-CO ₂)	電力使用量削減	○昼休み・不要時の消灯を徹底する	藤本マリ
		○OA機器は省電力設定にする	
		○空調の温度設定を（夏：27℃ 冬：22℃）とする	
		○機器の買換え時、省エネタイプへの切替	
	燃料使用量削減	○アイドリングストップ運動を推進する	武森義男
		○近距離移動は、自転車・バイクの使用を徹底する	藤本マリ
		○排出ガス対策型機械の積極的な使用	オペレーター
		○建設機械の自主点検・整備をおこなう	
		○省エネ機能の活用及びバケット満杯率の向上	
		○適正な作業範囲で旋回と作業機は複合動作で行う	
○旋回角度は小さく、排土は近く、低く			
○人員・資材の運搬は、効率よく行う		工事責任者	
○作業工程を管理し、作業の効率化を図る			
一般廃棄物排出量削減（50kg）		○文書の閲覧・保存はパソコン内でおこなう	筒井通夫 藤本マリ
		○プレビュー画面で確認してミスプリを防止する	
		○使用済み用紙の裏面利用	
		○電子メール、PCFAXの活用	
		○両面印刷、縮小印刷の活用	
		○迷惑ファックス設定を行う	
		○リサイクル業者の使用済みトナー回収	
産業廃棄物排出量削減（40t）		○産廃処理契約、マニフェスト伝票の管理を徹底する	工事責任者
		○現場内に分別場所を設け、再利用と廃棄の分別を行う	
		○残余材の発生防止及び再利用に努める	
		○再資源化施設の検索・調査	
用水使用量（排水量）削減（14m3）		○節水の表示を行い励行を促す	藤本マリ
		○車輛、建設機械の洗車は泥を落とした後行う	工事責任者
グリーン購入の推進（85%）		○エコマーク文具の購入を推奨する	藤本マリ
		○環境品の調査を定期的に行ってゆく	工事責任者
環境負荷の少ない工事の施工（全工事）		○低騒音、排ガス対策型機械の使用	工事責任者
		○環境負荷の少ない資材（再生砕石、再生合材等）の使用	
		○再生資材を原料とした製品の使用	
		○間伐材を使用した木製型枠、工事看板の使用	
		○粉塵の防止対策の実施	
		○濁水防止対策の実施	
		○刈り草、木屑運搬時の飛散防止	

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項 目		総量・ 原単位	単位	基準年度	2023年度		実績値 ／目標値 (%)	評価
				2016年度	目標値	実績値		
				2016. 8～ 2017. 7	2023. 8～2024. 7			
売上高		総量	百万円	71		101		
電力使用量		総量	kWh	3, 134	2, 910	2, 996	103. 0%	×
		原単位	kWh/百万円	44. 1	41. 0	29. 7	72. 4%	○
燃 料 使 用 量	ガソリン使用量	総量	ℓ	1, 829	1, 700	1, 353	79. 6%	○
		原単位	ℓ/百万円	25. 8	24. 0	13. 4	55. 9%	○
	軽油使用量	総量	ℓ	3, 779	3, 510	1, 223	34. 8%	○
		原単位	ℓ/百万円	53. 2	49. 5	12. 1	24. 5%	○
	灯油使用量	総量	ℓ	110	100	90	90. 0%	○
		原単位	ℓ/百万円	1. 5	1. 4	0. 9	64. 3%	○
CO ₂ 排出量		総量	kg-CO ₂	16, 364	14, 800	8, 114	54. 8%	○
		原単位	kg-CO ₂ /百万円	230. 5	203. 8	80. 3	39. 4%	○
一般廃棄物排出量		総量	kg	50	50	17	34. 0%	○
		原単位	kg/百万円	0. 7	0. 7	0. 2	30. 8%	○
産業廃棄物排出量		総量	t	47	40	102	255. 0%	×
		原単位	t/百万円	0. 7	0. 7	1. 0	153. 9%	×
産業廃棄物再資源化率		総量	%	100	100	100	100. 0%	○
用水使用量		総量	m ³	15	14	14	100. 0%	○
		原単位	m ³ /百万円	0. 2	0. 2	0. 1	52. 6%	○
グリーン購入		総量	%	85	85	77	90. 6%	×
環境負荷の少ない工事		総量	%	100	100	100	100. 0%	○
				(5件/5件)	(全件)	(11件/11件)	(7件/7件)	
地域社会貢献活動		総量	回	16	24	33	137. 5%	○

※1 購入電力のCO₂排出係数は、四国電力（2023年1月31日公表）の調整後排出係数0.533kg-CO₂/kWhを使用した。

※2 グリーン購入総量（%）は今年度からすべての直接工事用資材を除き、現場備品（工事用看板、バリケード等）、事務用品の総購入金額に対して環境品の購入金額の割合とする。

目標値については、基準年の実績：85%（83,925円/98,934円）を継続する。

※3 環境負荷の少ない工事の実施例

- ・低騒音、排ガス対策型機械の使用
- ・環境負荷の少ない材料（再生砕石、再生合材、高炉セメント等）の使用
- ・再生資材を原料とした製品の使用
- ・間伐材を使用した木製型枠、工事看板の使用
- ・粉塵の防止対策の実施
- ・濁水防止対策の実施
- ・刈り草、木屑運搬時の飛散防止

※4 化学物質使用量の目標設定は、使用がないため設定は行わない。

<環境経営目標未達成項目・理由>

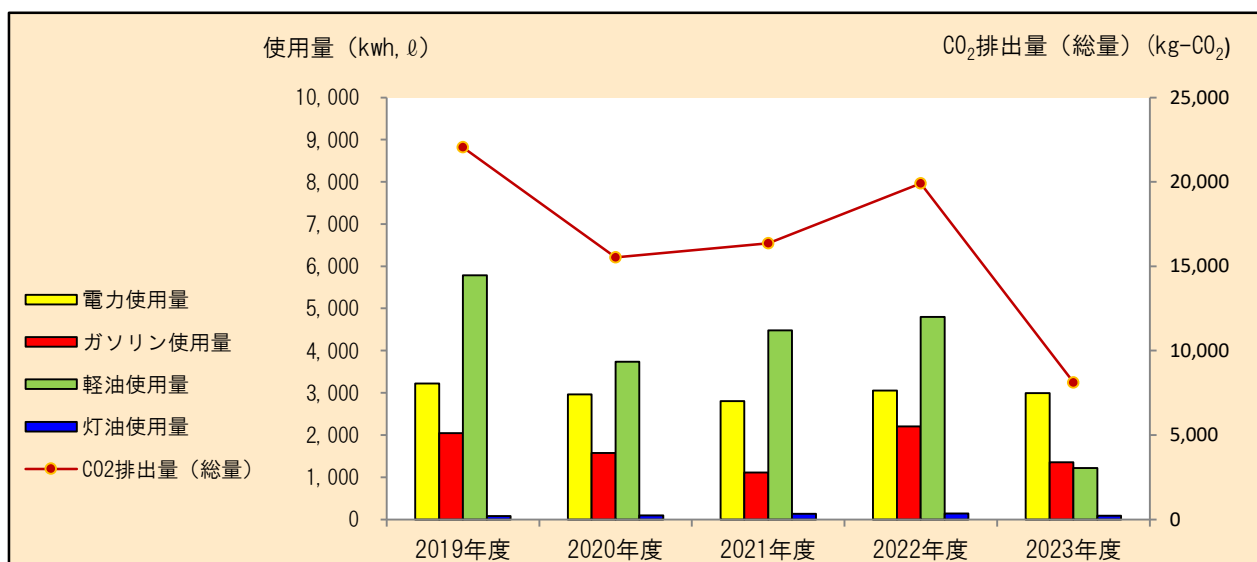
- ① 電力使用量（目標値：2910kWh⇒実績値：2996kWh）
理由：微増であるため、理由は特定できない。
- ② 産業廃棄物排出量（目標値：40 t ⇒実績値：102t）
理由：基準年に比べ舗装工事の受注件数が増え、アスファルト殻の排出量が増加している為。

＜過去の実績＞

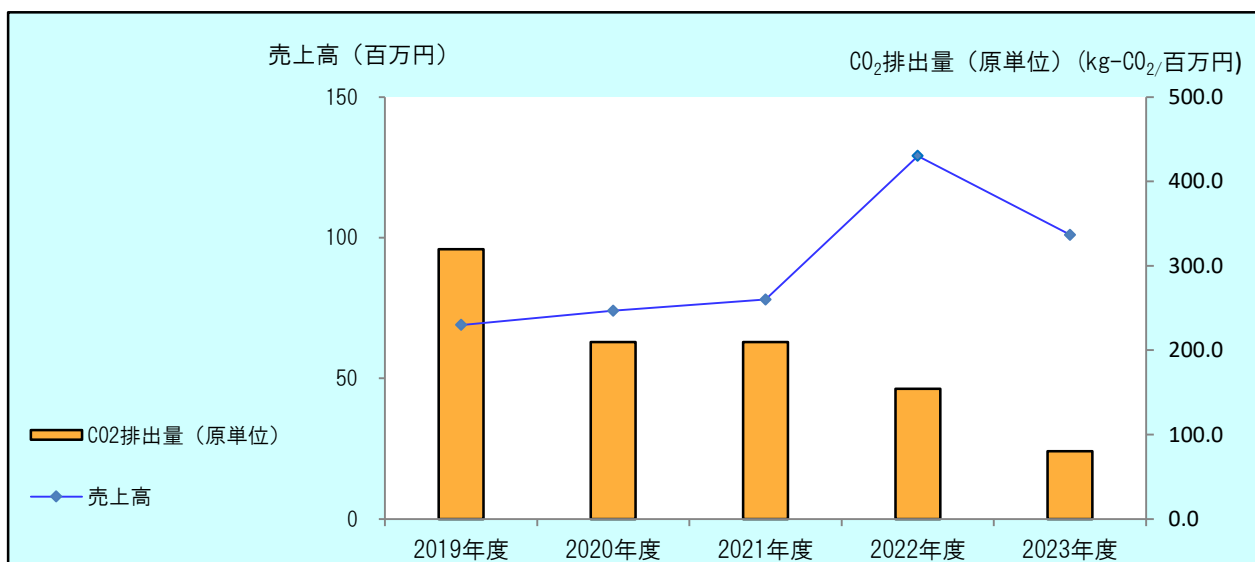
項 目		総量・ 原単位	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高			百万円	69	74	78	129	101
電力使用量		総量	kWh	3, 225	2, 962	2, 801	3, 053	2, 996
		原単位	kWh/百万円	46. 7	40. 0	35. 9	23. 7	29. 7
燃 料 使 用 量	ガソリン使用量	総量	ℓ	2, 046	1, 575	1, 111	2, 209	1, 353
		原単位	ℓ/百万円	29. 7	21. 3	14. 2	17. 1	13. 4
	軽油使用量	総量	ℓ	5, 788	3, 736	4, 484	4, 798	1, 223
		原単位	ℓ/百万円	83. 9	50. 5	57. 5	37. 2	12. 1
	灯油使用量	総量	ℓ	80	100	138	140	90
		原単位	ℓ/百万円	1. 2	1. 4	1. 8	1. 1	0. 9
CO ₂ 排出量		総量	kg-CO ₂	22, 036	15, 523	16, 364	19, 894	8, 114
		原単位	kg-CO ₂ /百万円	319. 4	209. 8	209. 8	154. 2	80. 3
一般廃棄物排出量		総量	kg	15	17	17	28	17
		原単位	kg/百万円	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2
産 業 廃 棄 物 排 出 量	コンクリート殻	総量	t	231	20	6	150	35
	アスファルト殻	総量	t	175	2	251	355	49
	建設発生木材	総量	t		27	33	14	14
	その他	総量	t					4
		総量	t	406	49	290	519	102
		原単位	t/百万円	5. 9	0. 7	3. 7	4. 0	1. 0
	再資源化率	総量	%	100	100	100	100	100
資 源 使 用 量	生コンクリート	総量	t	580	287	1, 040	843	517
	アスファルト合材	総量	t	197	25	329	100	79
	砕石	総量	t	414	13	270	386	43
	土砂、石材	総量	t	457	537	381	347	150
	鋼材、その他	総量	t	77	27	14	118	5
用水使用量		総量	m ³	10	10	18	18	14
		原単位	m ³ /百万円	0. 1	0. 1	0. 2	0. 1	0. 1
グリーン購入		総量	%	87	89	88	82	77
環境負荷の少ない工事		総量	%	(5件/5件) 100	(5件/5件) 100	(9件/9件) 100	(11件/11件) 100	(7件/7件) 100
地域社会貢献活動		総量	回	30	30	29	29	33

※ 資源使用量のその他はコンクリート二次製品、ポリエチレン二次製品。

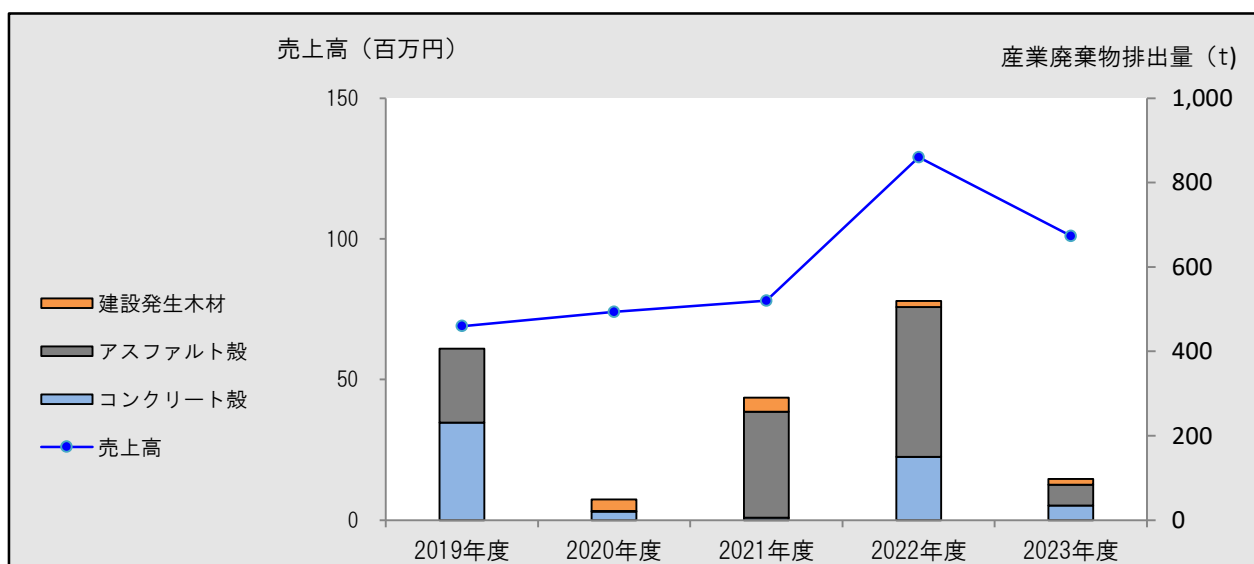
①エネルギー使用量とCO₂排出量（総量）（2019年度～2023年度）



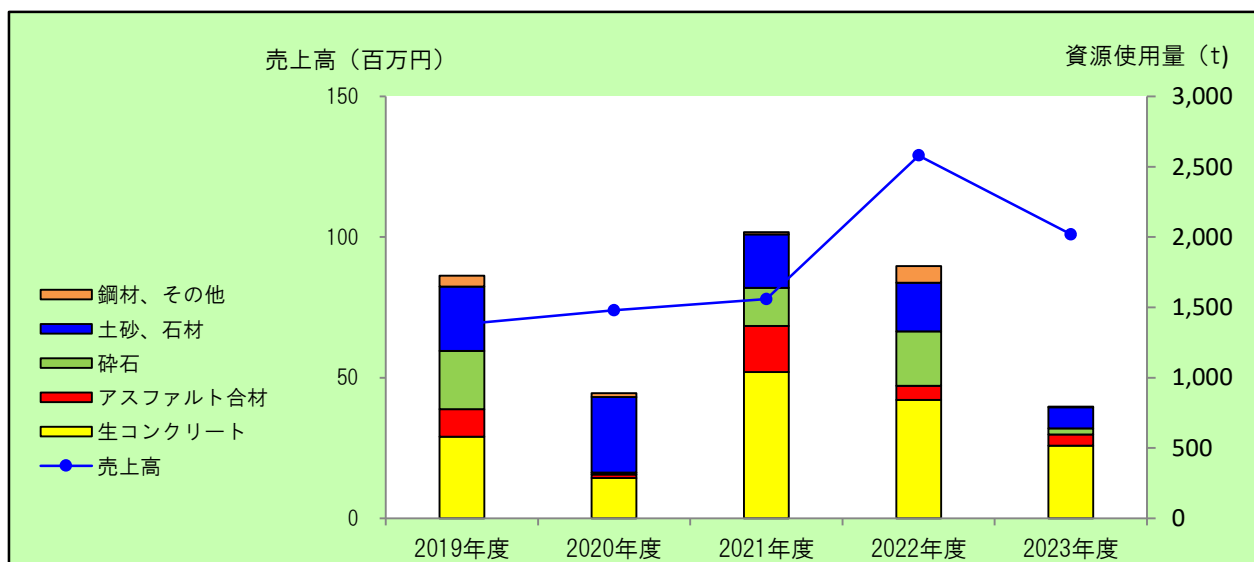
②売上高とCO₂排出量（原単位）（2019年度～2023年度）



③売上高と産業廃棄物排出量（2019年度～2023年度）



④売上高と資源使用量（2019年度～2023年度）



9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価

対象期間：2023年度（2023年8月1日～2024年7月31日）

項 目		活 動 内 容	取 組 結 果	評価	見 直 し
CO ₂ 排出 量削減	電力使用 量削減	○ 昼休み・不要時の消灯を徹底する。	よく取り組めていた。	○	今後も継続していく。
		○ OA機器は省電力設定にする。	よく取り組めていた。	○	今後も継続していく。
		○ 空調の温度設定を（夏：27℃ 冬：22℃）とする。	換気をこまめにおこなった為、温度設 定が28℃を下回る月がありました。	△	なお一層取り組んでいく。
		○ 機器の買換え時、省エネタイプへの切 替。	複合機を買い換えました。。	○	今後も継続していく。
	燃料使用 量削減	○ アイドリングストップ運動を推進す る。	夏場、冬場に達成できませんでした。	○	なお一層取り組んでいく。
		○ 近距離移動は、自転車・バイクの 使用を徹底する。	降雨時、冬場に達成できませんでした。	△	降雨時は安全面も考慮し各自で 判断する。
		○ 排出ガス対策型機械の積極的な使用。	全ての現場において使用された。	○	今後も継続していく。
		○ 建設機械の自主点検・整備をおこな う。	よく実施されていた。	○	今後も継続していく。
		○ 省エネ機能の活用及びバケット 満杯率の向上。	よく実施されていた。	○	今後も継続していく。
		○ 適正な作業範囲で旋回と作業機は 複合動作で行う。	よく実施されていた。	○	今後も継続していく。
		○ 旋回角度は小さく、排土は近く、低 く。	よく実施されていた。	○	今後も継続していく。
		○ 人員・資材の運搬は、効率よく行う。	よく実施されていた。	○	今後も継続していく。
		○ 作業工程を管理し、作業の効率化を図 る。	よく実施されていた。	○	今後も継続していく。
用水使用量 （排水量）削減		○ 節水の表示を行い励行を促す。	よく実施されていた。	○	なお一層取り組んでいく。
		○ 車輛、建設機械の洗車は泥を 落とした後行う。	よく実施されていた。	○	今後も継続していく。。
一般廃棄物 排出量削減		○ 文書の閲覧・保存はパソコン内でおこ なう。	紙媒体での保存がありました。	△	なお一層取り組んでいく。
		○ プレビュー画面で確認してミスプリを 防止する。	達成できませんでした。	△	なお一層取り組んでいく。
		○ 使用済み用紙の裏面利用。	達成できませんでした。	○	各自習慣となる様一層取組んで いく。
		○ 電子メール、PCFAXの活用。	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 両面印刷、縮小印刷の活用。	プリントの設定を忘れていた。	△	各自習慣となる様一層取り組んで いく。
		○ 迷惑ファックス設定を行う。	設定が行われている。	○	今後も継続していく。
		○ リサイクル業者の使用済みトナー回 収。	業者に依頼ができています。	○	今後も継続していく。
産業廃棄物 排出量削減		○ 産廃処理契約、マニフェスト伝票によ る管理を徹底する。	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 現場内に分別場所を設け、再利用と 廃棄の分別を行う。	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 残余材の発生防止及び再利用に努め る。	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 再資源化施設の検索・調査。	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
グリーン購入		○ エコマーク文具の購入を推奨する。	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 環境品の調査を定期的に行ってゆく。	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
環境負荷の 少ない工事		○ 低騒音、排ガス対策型機械の使用。	該当する現場ではよく取組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 環境負荷の少ない資材（再生砕石、 再生合材等）の使用。	該当する現場ではよく取組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 再生資材を原料とした製品の使用。	該当する現場ではよく取組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 間伐材を使用した木製型枠、工事看板 の使用。	該当する現場ではよく取組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 粉塵の防止対策の実施。	該当する現場ではよく取組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 濁水防止対策の実施。	該当する現場ではよく取組めている。	○	今後も継続していく。
		○ 刈り草、木屑運搬時の飛散防止。	該当する現場ではよく取組めている。	○	今後も継続していく。

○：実行された △：実行できなかった /：該当無

9-1. 具体的な取組状況

1. 電力使用量削減



【複合機：省電力設定タイプへの切替】

国際エネルギー省プログラム規格適合品
(energy star)



2. 一般廃棄物量削減



【使用済み用紙の裏面利用】

- ・ 使用済み用紙の再使用。
- ・ 状況に応じ両面、縮小印刷の実施。



【迷惑 F A X 設定】

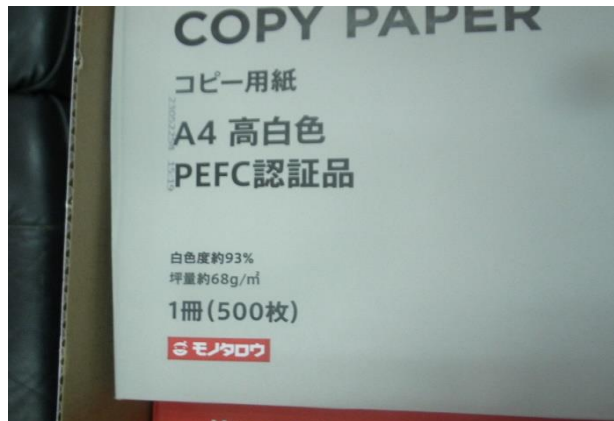
複合機の画面で文書を確認し、印刷を実施。

3. グリーン購入



【コピー用紙】

PEFC（持続可能な森林管理国際基準）認証品を購入



4. 環境負荷の少ない工事(1)



【南浦急傾斜地崩壊対策工事】

工事場所：土佐市 蓮池
工事期間：2023年7月～2024年3月
主要工種：土工、擁壁工、落石防護工

環境配慮事項

- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用。
- ・燃費基準達成車両の使用。
- ・生コン、目地材等グリーン購入法適合品を使用。



【南浦急傾斜地崩壊対策工事】

環境配慮事項

- ・間伐材を使用した木製型枠、工事看板の使用。

5. 環境負荷の少ない工事 (2)



【土佐市橋梁（初田橋）補修工事】

工事場所：土佐市 用石
 工事期間：2023年10月～2024年2月
 主要工種：舗装工、橋梁附属物工、橋梁修繕工

環境配慮事項

- ・ 有害物質の外部流出防止対策の実施
 （プラスト養生、エアシャワー設置）



5. 地域社会貢献活動



地域社会貢献活動実績（2023. 08～2024. 07）

認定団体：高知県 土佐市 高知県建設業協会
 活動回数：33回
 参加人員：92人



土佐市自治会応援事業者登録
 （清掃活動や自治会行事などの自治会活動に対し、ボランティアで協力を行う。）

9-2. 外部表彰・感謝状

1. 永年継続事業者感謝状



授与機関： 一般財団法人持続性推進機構
エコアクション21中央事務局



授与機関： 高知県地球温暖化防止県民会議

10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

1) 単年度目標（2024年度）

項 目		総量・ 原単位	単位	2022年度	2024年度
				(基準年) ※1	総量:基準年-1%
売上高		総量	百万円	129	
電力使用量		総量	kWh	3,053	3,022
		原単位	kWh/百万円	23.7	
化石 燃料 使用 量	ガソリン使用量	総量	ℓ	2,209	2,187
		原単位	ℓ/百万円	17.1	
	軽油使用量	総量	ℓ	4,798	4,750
		原単位	ℓ/百万円	37.2	
	灯油使用量	総量	ℓ	140	139
		原単位	ℓ/百万円	1.1	
CO ₂ 排出量 ※2		総量	kg-CO2	19,894	19,695
		原単位	kg-CO2/百万円	154.2	
一般廃棄物排出量		総量	kg	28	28
		原単位	kg/百万円	0.2	
産業廃棄物排出量		総量	t	519	514
		原単位	t/百万円	4.0	
産業廃棄物再資源化率		総量	%	100	100
用水使用量		総量	m3	18	14
		原単位	m3/百万円	0.1	
環境負荷の少ない工事 ※3		総量	%	100	100
				11件/11件	(全件)
地域社会貢献活動		総量	回	29	24

※1 2024年度からの環境経営目標値の算出における基準年度は、2022年度とする。

※2 購入電力のCO₂排出係数は、四国電力（2023年1月31日公表）の調整後排出係数0.533kg-CO₂/kWhを使用した。

※3 環境負荷の少ない工事の実施例

- ・低騒音、排ガス対策型機械の使用
- ・環境負荷の少ない材料（再生砕石、再生合材、高炉セメント等）の使用
- ・再生資材を原料とした製品の使用
- ・間伐材を使用した木製型枠、工事看板の使用
- ・粉塵の防止対策の実施
- ・濁水防止対策の実施
- ・刈り草、木屑運搬時の飛散防止

※4 化学物質使用量の目標設定は、使用がないため設定は行わない。

2) 中長期目標（2025年度～2027年度）

項 目		総量・ 原単位	単位	2016年度	2025年度	2026年度	2027年度
				(基準年)	総量:基準年-2%	総量:基準年-3%	総量:基準年-4%
売上高			百万円	129			
電力使用量		総量	kWh	3,053	2,992	2,961	2,931
		原単位	kWh/百万円	23.7			
化石燃料使用量	ガソリン使用量	総量	ℓ	2,209	2,165	2,143	2,121
		原単位	ℓ/百万円	17.1			
	軽油使用量	総量	ℓ	4,798	4,702	4,654	4,606
		原単位	ℓ/百万円	37.2			
	灯油使用量	総量	ℓ	140	137	136	134
		原単位	ℓ/百万円	1.1			
CO ₂ 排出量		総量	kg-CO ₂	19,894	19,496	19,297	19,098
		原単位	kg-CO ₂ /百万円	154.2			
一般廃棄物排出量		総量	kg	28	27	27	27
		原単位	kg/百万円	0.2			
産業廃棄物排出量		総量	t	519	509	503	498
		原単位	t/百万円	4.0			
産業廃棄物再資源化率		総量	%	100	100	100	100
用水使用量		総量	m ³	18	14	14	14
		原単位	m ³ /百万円	0.1			
環境負荷の少ない工事		総量	%	100	100	100	100
				11件/11件	(全件)	(全件)	(全件)
地域社会貢献活動		総量	回	29	24	24	24

(2) 環境経営計画

1) 2024年度環境経営計画

項 目		活 動 内 容	担当者
CO ₂ 排出量削減 (19,695kg-CO ₂)	電力使用量削減	○昼休み・不要時の消灯を徹底する	藤本マリ
		○OA機器は省電力設定にする	
		○空調の温度設定を（夏：27℃ 冬：22℃）とする	
		○機器の買換え時、省エネタイプへの切替	
	燃料使用量削減	○アイドリングストップ運動を推進する	武森義男
		○近距離移動は、自転車・バイクの使用を徹底する	藤本マリ
		○排出ガス対策型機械の積極的な使用	オペレーター
		○建設機械の自主点検・整備をおこなう	
		○省エネ機能の活用及びバケット満杯率の向上	
		○適正な作業範囲で旋回と作業機は複合動作で行う	
		○旋回角度は小さく、排土は近く、低く	工事責任者
		○人員・資材の運搬は、効率よく行う	
○作業工程を管理し、作業の効率化を図る			
一般廃棄物排出量削減（28kg）	○文書の閲覧・保存はパソコン内でおこなう	筒井通夫 藤本マリ	
	○プレビュー画面で確認してミスプリを防止する		
	○使用済み用紙の裏面利用		
	○電子メール、PCFAXの活用		
	○両面印刷、縮小印刷の活用		
	○迷惑ファックス設定を行う		
	○リサイクル業者の使用済みトナー回収		
産業廃棄物排出量削減（514t）	○産廃処理契約、マニフェスト伝票の管理を徹底する	工事責任者	
	○現場内に分別場所を設け、再利用と廃棄の分別を行う		
	○残余材の発生防止及び再利用に努める		
	○再資源化施設の検索・調査		
用水使用量（排水量）削減（14m3）	○節水の表示を行い励行を促す	藤本マリ	
	○車輛、建設機械の洗車は泥を落とした後行う	工事責任者	
グリーン購入の推進（85％）	○エコマーク文具の購入を推奨する	藤本マリ	
	○環境品の調査を定期的に行ってゆく	工事責任者	
環境負荷の少ない工事の施工（全工事）	○低騒音、排ガス対策型機械の使用	工事責任者	
	○環境負荷の少ない資材（再生砕石、再生合材等）の使用		
	○再生資材を原料とした製品の使用		
	○間伐材を使用した木製型枠、工事看板の使用		
	○粉塵の防止対策の実施		
	○濁水防止対策の実施		
	○刈り草、木屑運搬時の飛散防止		

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	要求事項	具体的内容	点検時期・頻度	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条 第1項	事業者の責務	事業者の責任において適正処理	工事施工時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
	第3条 第2項		廃棄物の再生利用による減量化	工事施工時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
	第3条 第3項		国及び地方公共団体の施策への協力	必要時	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	第12条の1	事業者の処理	産業廃棄物（運搬・）処理の委託契約	廃棄物排出前	筒井通夫	遵守	2024年8月5日
	法第12条の2 第1項		多量排出事業者の処理に関する計画の知事への提出・報告	必要時	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	法第12条の3 第10, 11項	産業廃棄物管理票	管理票の交付	廃棄物排出時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
	法第12条の3 第2, 3, 6, 9項		管理票の保存	最終処分完了時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
	法第12条の3 第3項		管理票の送付	運搬完了時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	法第12条の3 第7項		交付等状況報告書の知事への提出	6月末	筒井通夫	遵守	2024年8月5日
	法第12条の3 第8項		運搬・処分不可の通知を受けた時の措置	通知を受けた時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	法第14条 第1項	産業廃棄物収集運搬業	収集運搬業の許可・更新	有効期間3か月前	藤本マリ	該当無	2024年8月5日
	法第14条 第12項	産業廃棄物収集運搬業	産業廃棄物処理基準による収集運搬	運搬時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（施行法則）	施行令第6条の1 第1項イ	産業廃棄物の収集、運搬基準	運搬車両の表示	運搬時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
	施行令第6条の2 第1, 2項	産業廃棄物運搬、処分等の委託の基準	適正な委託業者の選定	廃棄物排出前	工事責任者	遵守	2024年8月5日
	施行令第6条の2 第4, 5項		委託契約書の締結・保存	廃棄物排出前	筒井通夫	遵守	2024年8月5日
	第8条	産業廃棄物の保管	囲い及び掲示板の設置	必要時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
建設リサイクル法	法第5条 第1項	建設業を営む者の責務	廃棄物発生の抑制および再資源化等に要する費用の低減	施工時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
	法第5条 第2項		再資源化資材の利用促進		工事責任者	遵守	2024年8月5日
	法第9条		分別解体等実施義務		工事責任者	遵守	2024年8月5日
	法第10条	対象建設工事の届出等	県知事に届出	工事開始7日前	筒井通夫	遵守	2024年8月5日
	法第12条	届出に関する事項の説明	発注者への書面による説明	請負契約時	筒井通夫	遵守	2024年8月5日
	法第16条	再資源化等実施義務	特定建設資材廃棄物の再資源化、縮減化	工事施工時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
	法第18条	発注者への報告等	再資源化の完了報告及び実施状況に関する記録の作成・保存	工事完了時	筒井通夫	遵守	2024年8月5日
資源有効利用促進法	法第4条	事業者等の責務	原材料等の使用の合理化及び再生資源利用の努力	施工時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
環境基本法	法第8条 第1～4項	事業者の責務	事業活動に伴う公害の防止及び自然環境の保全措置	施工時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
騒音規制法	法第14条	特定建設作業の実施の届出	市町村長に届出	作業開始7日前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
振動規制法	法第14条	特定建設作業実施の届出	市町村長に届出	作業開始7日前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
大気汚染防止法	法第18条の15	解体等工事の調査・説明	県知事に報告	調査後	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	法第18条の17の1	受注者の事前調査・説明	特定工事に該当するか否かについて調査及び発注者への書面による説明	工事着手前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	法第18条の17の4		調査結果の掲示	工事着手前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	法第18条の18	作業基準遵守義務	作業基準遵守	作業時	工事責任者	該当無	2024年8月5日

法規名	適用条項	要求事項	具体的内容	点検時期・頻度	担当者	遵守状況	確認日
【水銀廃棄物ガイドラン】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	法第11条	排出事業者の責務	産業廃棄物保管基準の遵守	必要時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	法第12条	排出事業者の責務	産業廃棄物（運搬・処理）の委託契約	作業開始前	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	法第12条の3	排出事業者の責務	必要な情報の記載	排出時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	規則第8条の5	排出事業者の責務	処理施設（状況）の確認	作業開始前	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	規則第8条の21	排出事業者の責務	管理票の交付・保存	排出時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
フロン排出抑制法	第41条	第一種特定製品廃棄等実施者の責務	第一種フロン類充填回収業者への引渡し義務	必要時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	第42条	特定解体工事元請業者の責務	第一種特定製品の有無についての確認及び発注者への書面による説明	必要時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	第43条	第一種特定製品廃棄等実施者の責務	第一種フロン類充填回収業者への書面の交付	必要時	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	施行令 経・環告示第十三号	第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項	管理第一種特定製品について簡易な点検	3か月に1回以上	武森義広	遵守	2024年8月5日
石綿障害予防規則	第3条	事業者の責務	事前調査、掲示、発注者への報告	作業開始前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	第4条	事業者の責務	作業計画の策定	作業開始前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	第5条	事業者の責務	吹付石綿の除去作業について労働基準監督署長への届出	作業開始14日前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	第6条	事業者の責務	作業場所の隔離	作業開始前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	第7条	事業者の責務	作業場所への立入禁止措置	作業開始前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	第13条	事業者の責務	石綿の湿潤化	作業開始前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	第14条	事業者の責務	保護具の着用	作業開始前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	第19条	事業者の責務	作業主任者の選任	作業開始前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	第27条	事業者の責務	特別の教育の実施	作業開始前	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
グリーン購入法	第32条	事業者の責務	作業後の保護具などの保管	作業終了後	工事責任者	該当無	2024年8月5日
	法第5条	事業者の責務	環境物品等の調達の推進	資材発注時	工事責任者	遵守	2024年8月5日
地方税法	第144条の33 第1項	製造等の承認を受ける義務等に関する罪	不正軽油の製造		武森義広	遵守	2024年8月5日
高知県環境基本条例	第6条	事業者の責務	公害の防止、自然環境適正保全のための必要な措置	必要時	武森義広	遵守	2024年8月5日
高知県清流保全条例	第2条	事業者の責務	清流保全の努力	必要時	武森義広	遵守	2024年8月5日
土佐市環境美化条例	法第5条	事業者の責務	再資源化及び環境美化活動の推進	必要時	武森義広	遵守	2024年8月5日
土佐市火災予防条例	法第45条	事業者の責務	火災とまざらわしい行為等の届出	必要時	筒井通夫	該当無	2024年8月5日
	法第46条	事業者の責務	少量物危険物貯蔵の消防署への届出	必要時	筒井通夫	該当無	2024年8月5日

（２）環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年8月1日より2024年7月31日までの間、環境関連法規等への違反、訴訟は、ありませんでした。

過去においても、環境関連法規等への違反、訴訟は、ありません。

代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し
□臨時見直し

代 表 者
武 森 義 広

見直しに必要な情報				代表者による見直し				
環境管理責任者の報告及び改善提案			報告日：2024年8月13日		変更の必要性の有無・指示事項		2024年8月13日	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】				
①環境関連法規制等の遵守状況				変更の必要性： □ 有 ■ 無				
環境関連法規等への違反、訴訟は、ありませんでした。				現在の環境経営方針を継続する。				
②問題点の是正処置及び予防処置の状況								
是正及び予防処置となるものは、ありませんでした。								
③前回までの代表者の指示事項への対応								
・産業廃棄物搬出量の削減								
近年、舗装工事の受注件数が近年増加し、アスファルト製の排出量が基準年と比較すると約2倍になっています。								
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】				
目標項目	目標値	経営計画	目標値、経営計画に対するコメント	変更の必要性： ■ 有 □ 無				
CO ₂ 排出量	○	△	電力使用量は、目標値を僅かオーバーしましたがCO ₂ 排出量は大幅に減少しました。	・2024年度は、基準年の見直しを行うこと。				
用水使用量	○	○	この活動を継続します。	・2024年度からグリーン購入の数値目標は削除するが、環境経営活動は、継続すること。				
廃棄物排出量	×	○	大幅に増加しました。					
グリーン購入	△	○	この活動を継続します。					
環境負荷の少ない工事	○	○	この活動を継続します。	【代表者が自ら得た情報】				
環境美化活動	○	○	この活動を継続します。	特になし。				
環境経営目標の評価 ○：達成 ×：未達成								
環境経営計画の評価 ○：十分に組み組めた。 △：さらに組み組む必要。								
【改善提案】				【その他】				
・2022年度以降、受注高の増加に伴い産業廃棄物排出量も大幅に増加しています。よって2024年度は、基準年の見直しを行いたいと思います。				変更の必要性： □ 有 ■ 無				
・2024年度より環境経営目標におけるグリーン購入の項目は削除します。ただし、環境経営活動は継続します。				エコアクション21はシステムとして有効に機能している。				
【周囲の変化の状況】				【総括】				
①外部コミュニケーション記録より				(環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)				
外部からの環境上の苦情・要望などはありませんでした。				1. 2023年度は、重機、車両の稼働日数が比較的少ない橋梁補修工事が2件受注できた為、CO ₂ 排出量が総量、原単位ともに大幅に削減できたと思われます。				
②環境関連法規制等の改訂動向				2. 産業廃棄物の削減は、受注工事の特性によって変動するため、適正な分別処理に取り組んでください。				
環境関連法規制等の改訂はありませんでした。				3. 年度ごとの受注高の変動、高齢化、人材不足、工事資機材の高騰等により経営環境が年々悪化しているが、各現場においては、作業工程の効率化を図り、生産性の向上を図ってください。				